道央廃棄物処理組合管理者交際費の支出基準及び公表に関する要綱

令和7年2月21日 管理者決裁

(趣旨)

第1条 この要綱は、管理者交際費が管理者の行政執行のために外部との交際上必要な公の経費であることにかんがみ、その支出に関し一層の透明化を図るため、必要な事項を定めるものとする。

(種別、支出範囲等)

第2条 管理者交際費は、道央廃棄物処理組合（以下「組合」という）の事務事業の進展に結びつくことが期待できる場合において、社会通念上妥当と認められる範囲内で必要最小限度の額を支出するものとする。

2 管理者交際費の種別、支出範囲等は次に掲げるとおりとする。

- (1) 祝儀等 祝金を原則とし、各種周年記念祝賀会、大会、式典、行事等において、別表に定めるところにより、管理者又は管理者が指名した者が出席する場合に限り支出する。
- (2) 弔慰金等 弔慰金（香典を含む。）、供花を原則とし、別表に定めるところにより支出する。
- (3) 渉外費 外部との連絡及び交渉に要する経費として、その都度決定する。
- (4) 会費等 各種懇談会等に係る会費及び参加費として、その実費を支出する。
- (5) その他 次に掲げる経費については、その実費を支出する。

ア 土産代

イ その他管理者が特に必要と認めるもの

- (6) 前各号の規定にかかわらず、交際上特に必要があると認められる場合は、予算の範囲内で別に支出することができる。

(執行状況の公開)

第3条 管理者交際費の執行年月日、支出金額及び支出内容については、組合のホームページにおいて公開するものとする。ただし、その内容が非公開情報（道央廃棄物処理組合情報公開条例（平成26年4月11日条例第13号）第9条の非公開情報をいう。）に該当するものであるときは、当該該当する部分は、公表しない。

(基準の改正)

第4条 この要綱は、社会経済状況の変化等に応じて、適宜見直しを行うものとする。

(委任)

第5条 この要綱に定めるもののほか、管理者交際費の支出に関し必要な事項は、管理者がその都度定める。

附 則

この要綱は、令和7年2月21日から施行する。

別表（第2条関係）

支出区分	支出範囲		支出金額等
祝儀等	組合関係市町等公共団体及び 公共的団体		10,000円
弔慰金等	管理者 副管理者 組合議会議員 監査委員 公平委員会委員	現職本人	香典10,000円及び 15,000円程度の供花等
		現職の配偶者又は 1親等の親族	15,000円程度の供花等
	その他管理者が特に必要と認める者		社会通念上妥当と 認められる額